

EVENT MARKETING 85

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

モチベーションを維持するには？



特集の3ページでしている質問に、編集部
の樋口も回答。答えから質問を想像してみ
てください。

A1.「イベント取材をはじめて19年。イベ
ント的なものを初めて企画して主催したのは
11年ほど前ですね」

A2.「1999年。映画クレイドル・ウィル・ロッ
クを観て、漠然としていた表現への衝動に駆

られた記憶があります。映画のパフレットが
タブロイド判スタイルだったことも影響してい
るのかもしれない。」

A3.「平日は朝7時起床。夜25時就寝。」

A4.「3日。プールとサウナに行きたい。放
熱したいです」

A5.「海外出張の取材先で、一眼レフカメラ
を首に下げて撮影した写真を確認しながら歩

いていたら、気づいた時にはプールに落ちて
データは消えました…。」

A6.「走る。野菜を刻む（主にコールスロー
サラダをつくります）。サウナ。共通点は無心
になるです。」

A7.「路上の視野」（沢木耕太郎）

A8. 好奇心。

A9. 反応をいただけるとよろこびます。

ということで、どんな質問なのかは3ページ
へ。

今号では、働き方やインバウンドイベントの
つくり方など、動機がたしかで長期にわたっ
て目標設定が必要なテーマを用意。さてさて、
どんな反応がいただけるのでしょうか。

（表紙写真：「Vivid Sydney」、6-7ページ座談会
より）

オンライン でも オフライン でも、

**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください！**



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com



イベント・マーケティング業界の働き方

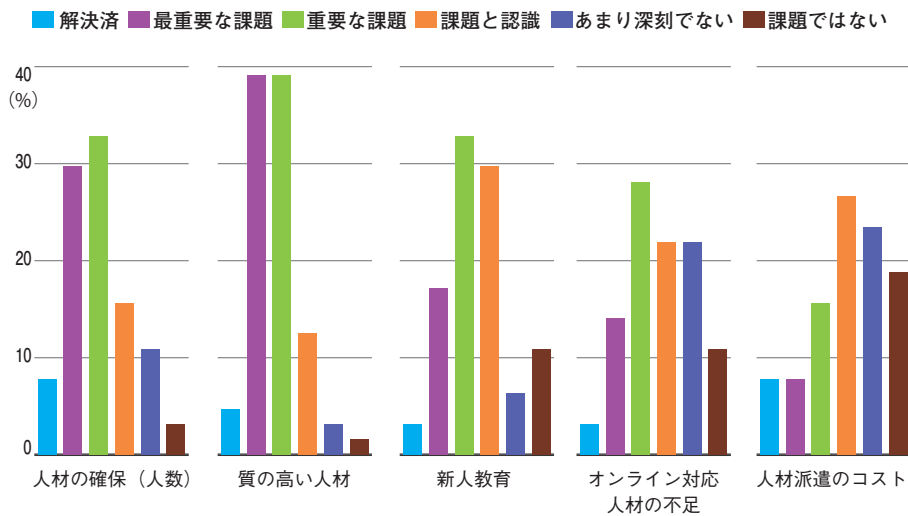
街にイベントが戻ってきた。自粛が続き先の見えなかったころを、イベント人はどのように過ごし、イベント会社はどのように乗り越えてきたのか。特集ではアンケートやインタビューをもとに、イベント人材の生き方、企業の人材戦略を考える。

業界の人材戦略アンケート

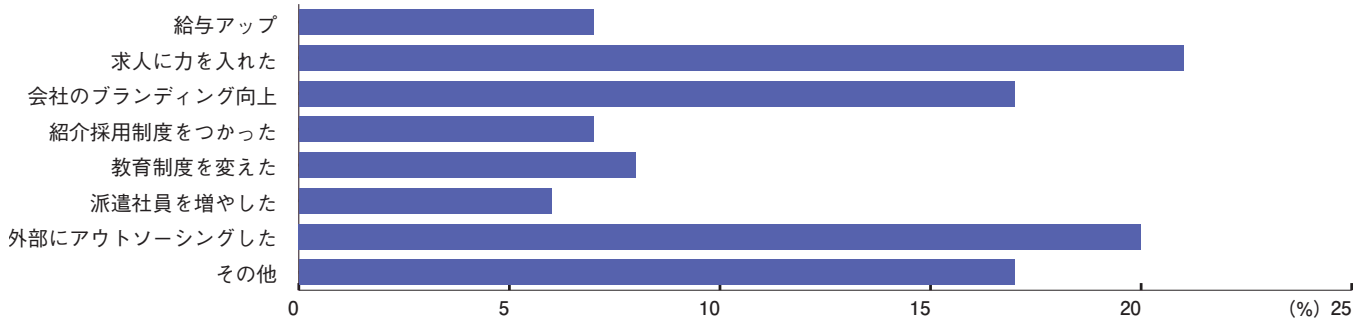
2019年末からの新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、翌年4月7日に緊急事態宣言が発出された。その後も6回の宣言や緊急事態措置などが繰り返され、「いつになったら開催できるのか」と先行きが見えない状態が約2年続き、業界を離れる人も少なくなかった。現在、イベントが開催できる情勢になり、今度は人材不足が課題となっている。一方で、感染者数の再拡大やサル痘などのリスクもあり、課題はなかなか解決しない。

そこで、本紙ではイベント会社の経営層・マネジメント層、一般企業のイベント担当マネジメント層を対象にアンケートを実施（有効回答数63）。各社がどのように、イベント人材の確保、サービス品質を保つ人材育成を進めてきたかを見てみよう。

Q 1 ; 現在、人材に関する課題にどれくらい直面していますか？



Q 2：人材確保の課題を解決した方法は？（複数回答）



Q 1

現在の人材に関する 課題について

もっとも多くの人が課題にあげたのが、「質の高い人材」で77.8%が最重要または重要と答えた。ついで「人材（人数）の確保」で61.9%、「新人教育」については多くが課題とは認識していたが、最重要または重要と回答したのは、49.2%にとどまった。「オンライン対応人材」については41.3%、「人材派遣のコスト高」は23.8%だった。「解決済み」という回答は少なかった。

NISHIO

RA(イベント)部門の
新しいWEB サイトが
OPEN しました!!

<https://www.nishio-rent.co.jp/rental/>

TOTAL POWER by NISHIO

展示会 イベント スケジュール

は

Webで無料の

イベントマーケティングウェブサイトへ

<https://www.event-marketing.co.jp>



Mika + Rika

9月～12月の
展示会 イベント
スケジュール



東京・名古屋・
大阪・神戸・京都版

10月の展示会・イベント



全国版

★10月2日～4日 Maker Faire Tokyo 2020東京ビュッザイベント

会場：東京ビッグサイト東棟6～8
主催：東京ビッグサイト株式会社
主幹：株式会社マイミュー・リサーチ
公式サイト： <https://makersfaire.com/2020/>
入場料と参加料は1人1,000円（税込）（税込）
観覧料無料（高校生以下無料）
参加費（当日）は1,000円（税込）
参加費（当日）は1,000円（税込）
参加費（当日）は1,000円（税込）

2020年9月の展示会・イベント・国際会議
スケジュール（全箇所）

- 9月1日～2日 [オンラインに限定] MakerZine Day 2020 Autumn
- 9月1日～3日 第9回日本経済新聞主催「展示会・イベント」の未来を拓く
- 9月12日～14日 第12回 Japan Marketing Week [東京・大阪・名古屋・京都・神戸・大阪]
- 9月2日～4日 第15回 ライフスタイル Week [東京・大阪・名古屋・京都・神戸・大阪]
- 9月3日～4日 [オンラインに限定] CEDEC 2020 [大阪・名古屋・京都・神戸・大阪]
- 9月3日～4日 アイド・タイム 10th Special Daysベルテル・ベルテル・ベルテル
- 9月3日～4日 第17回日本経済新聞主催「展示会・イベント」の未来を拓く
- 9月3日～4日 第17回日本経済新聞主催「展示会・イベント」の未来を拓く

10月の展示会・イベント



全国版

★10月2日～4日 Maker Faire Tokyo 2020東京ビュッザイベント

会場：東京ビッグサイト東棟6～8
主催：東京ビッグサイト株式会社
主幹：株式会社マイミュー・リサーチ
公式サイト： <https://makersfaire.com/2020/>
入場料と参加料は1人1,000円（税込）（税込）
観覧料無料（高校生以下無料）
参加費（当日）は1,000円（税込）
参加費（当日）は1,000円（税込）
参加費（当日）は1,000円（税込）

イバメカスケジュール5つの特長

- ① 無料、登録不要で、いつでもアクセスできる。
- ② 一覧表と詳細表示が切り替えできる
- ③ 月ごと、地域ごと、毎週のスケジュールが確認できる
- ④ 展示会以外のイベント情報も掲載
- ⑤ イベント情報の掲載も無料

運営会社：
株式会社 MICE 研究所



Venue
Event
Community

集い、交わる場（中規模スペース・ベニュー／イベント主催者）を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

入社5年目以上の人に聞いた

“イベント・マーケティング人”に9の質問

仕事も月日が経つと、志や働くモチベーション、求める仲間像など、日々に追われ、業務に没頭しているうちに忘れがちなこともある。そんな仕事への想いや働き方への気づきを、イベントマーケティングに従事する5人のお仲間に聞いてみた。仕事に役立った本、最大の失敗を紐解いていくうちに、ふと、あなたの原体験や元気の源を思い返すきっかけになるかもしれない。

Q2 人材確保の課題を 解決した方法

イベント関連会社が実際に課題解決のために実施している手法（複数回答）としてもっとも多かったのは、「求人に力を入れた」で33.3%、また「アウトソーシング」31.7%、「会社のブランディング向上」が27.0%という回答が続いた。そのほか「教育制度を変えた（12.7%）」、「紹介採用制度」11.1%、「給与アップ」と「派遣社員の増加」が9.5%だった。

Q3 働き方改革の施策として 実施または検討しているもの （記述式）

「他部署のメンバーがチームに参加」、「テレワーク」、「フレックス」、「業務効率化」、「不採算事業からの撤退」、「男女比率の改善」、「業務配分の見直し」、「MA や SFA 導入で業務自動化」、「アルバイト採用」、「裁量労働制」、「社外での業務用のデバイス供与」、「クロス業務で他部署のサポートをできるようにした」、「ウェビナーやオウンドメディアの活用」、「福利厚生、代休取得の徹底」、「オフィスの一部解約」、「イベント視察や勉強のための休暇」、「正社員にこだわらない雇用体系」、「集客力のある人材」、「残業 20 時間 / 月以内の実施」、「時間外休日のメール対応・連絡の自粛と顧客への理解促進」など、さまざまな取組みが行われていた。

9つの質問

- Q1. イベント・マーケティングに従事して何年目ですか？
Q2. 今の仕事を志したのはいつ？
Q3. 平均的な起床時間、就寝時間は？
Q4. 今年の夏期休暇は何日？何をして過ごしますか？

- Q5. 仕事でしてしまった最大の失敗は何？
Q6. ストレスがたまった時は何をする？
Q7. 今の仕事に役立った本は？
Q8. 仕事仲間に求める条件とは？
Q9. 仕事のモチベーションは？

01 北見 裕介さん 株式会社ユーグレナ 広報宣伝部長	02 真田 武幸さん 打ち水大作戦本部 打ち水大作戦作戦隊長 NPO法人リコリタ 代表	03 山口雄三さん 株式会社ビジネスガイド社 事業部 課長代理	04 山下 朗永さん 株式会社セレスポ スポーツイベント運営従事	05 岡星 竜美さん 目白大学メディア学部 (特任教授(イベント学))
A1 5 年ぐらいです。	A1 21 年になります。	A1 8 年目	A1 6 年目。	A1 実務 30 年、教授 11 年。
A2 20 代の WEB 企画を主担当にしていた頃、リアルな場との組み合わせが必須と思いました。	A2 21 年前の社会人1年目からですね。NPO を立ち上げたのはその3年後、打ち水大作戦の作戦隊長になったのは 2011 年からです。	A2 8 年前 = 転職時	A2 大学4年の就活の時期。	A2 1994 年頃から、イベントの専門学校の講師や JACE さんのイベント資格講座の講師を始めて意識しました。
A3 起床は 6 時。本当は早く寝たいのですが、就寝は 0 時ぐらいです。	A3 平均的な起床時間5時半、就寝時間 20 時半、起きた後と寝る前に打ち水するとすこし涼しくなりますよ。	A3 平均起床…6 時半 就寝…24 時～ 25 時	A3 6時半起床、23 時就寝。	A3 朝8時頃起床夜 11 時頃就寝。
A4 1週間休むつもりです。直近週末のイベントが重なっていたので、夏休みはしっかり休みます。	A4 1週間程度、暑い日は家族と打ち水しながら、ゆったり過ごします。	A4 6日、主に家事と家族サービスと思われます。	A4 3日間。実家に帰省し、のんびり過ごします。	A4 東京都さん依頼のコンテスト審査員、大学のイベントインターンなどもあるため休日は 35 日くらい。本の出版予定があるので執筆と、JEVA イベント総研の論文に充てます。
A5 ブライベートのイベントが Yahoo! ニュースに掲載。	A5 秋葉原でコスプレ打ち水しているときに、ダースベイダーのコスプレした人が熱中症になりかけてしまったのは申し訳なかったですね。。打ち水へのご参加を諦めて休んでもらいました。	A5 出張社の小間位置を取り間違えて、会期1週間前に気付いたこと。過去に帰りたくなりました。	A5 大型クレーン車の搬入で、マンホールを割ってしまったこと。	A5 コロナ禍で講義が全てオンラインになった時は初めてのことでだらけですごく焦りました。
A6 サウナー→水風呂→ユーグレナ	A6 打ち水するとスカッとさわやかな気持ちになりますよ！夏以外は集中してマンガを読みます。	A6 ラーメンか餃子を爆食、または子供の写真や動画を眺める。	A6 ジムで筋トレをするか、サウナに行きます。	A6 美味しい食事にワイン、そして犬と遊ぶこと。
A7 ゴルゴ 13。世界情勢を先読みしてくれます。	A7 これまでに読んだたくさんのマンガが人生の教科書です。	A7 「ギフト・ショー 創造と進化の奇跡」(著者：芳賀信享)	A7 『男の品格』川北 義則	A7 「夢を実現する力」PHP 研究所 (2011)
A8 あかるく・たのしく・前向きに。	A8 心から楽しいことを一緒にしよう！と思って仕事に向き合える人がいいですね。	A8 プラス思考、スペシャリスト型、折れない心、ラーメン大好き、子煩悩。	A8 遊び心がある人。	A8 講義は教えることではなくて " 学びたい / 知りたい " と好奇心を持たせることかと信じています。それさえあれば学生は自ら学んでいくくれるからです。イベント学の教員仲間には、イベント学らしく " 楽しく興味を持てる " 講義をしようと呼びかけたいです。
A9 個人が短期間には達成しえない社会へのインパクトが出せること。	A9 みんなの笑顔ですね！	A9 コロナ対策が落ち着けばイベント業界も大復活！と信じてベストを尽くします。	A9 イベント当日、計画していたものが形となったときの達成感が仕事のモチベーションです。	A9 自分がかつてイベントの現場でしたくじりをしないようにする【失敗学】や『できない?』が『できる!』に変える【実現学】などのメソッドをイベント業界を目指す学生や若者に提供し、喜んでもらうことです。

おかげさまで創刊 7 周年

愛されるイベマケから

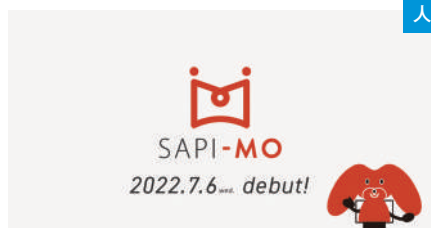
業界のみなさんを愛するイベマケに

株式会社 MICE 研究所
月刊イベントマーケティング編集部
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 4F-A
Tel: 03-6721-5303 / Fax: 03-6721-5704
<https://www.event-marketing.co.jp>



派遣会社・イベント会社の人材戦略

長く続いたイベント自粛で業界を離れる人も多かったが、イベントが再開されている現在、人材需要が急上昇している。需給ギャップを埋める人材派遣会社と社内での人材確保を行ったイベント会社の施策を見てみよう。



人材

(株)サピエント
担当:コンテンツグループ
TEL:03-5962-4150
Email:sapi-mo@sapient-inc.co.jp

・**会社の特長（専門性や総合力など）**
外国語対応、VIP 対応はもちろん、司会・進行・接客・製品説明・商談等、多様な職種の現場経験と十全なトレーニングを積んだコミュニケーション力の高い人材が、お客様の「顔」としてお役に立ちます。
展示会、コンベンション、セミナー、シンポジウム、博覧会、株主総会、販促プロモーションなど、活躍のシーンは多岐にわたります。

・**登録人数・主なイベント実績など**
登録人数 500 名
各種展示会（東京モーターショー・フーデックス・ゲームショー等）
TAKANAWA GATE WAY FEST

・**不況のなかどうやってイベント人材を確保したか**
元々登録しているスタッフが 500 名おり、行政案件等で様々な案件をお願いしながら、関係性を構築し、人材確保に成功している・主に口コミ

によるお友達紹介が多数

・**労働環境改善と人材の教育の新方式**
人材の育成については、登録時の新人研修、接客研修、また、業務内容に応じた商品、オペレーション研修を随時実施しています。今後、必要に応じた、ビジネスセミナーの web 研修の受講などを提供予定です。

・**おすすめサービス**
リモート接客「SAPI-MO (サピーモ)」。

弊社の人材は、リアル現場、オンライン環境での接客が可能です。さらに、イベント現場に適したシステムでハイブリット運営にも対応できるよう新サービスの提供をスタートしました。https://sapi-mo.com/

・**今後のイベント業界での在り方。求められる人物像と会社像**
ホスピタリティ力の高い人材の育成と確保。どのようなシーンでも変わらぬ質の高い接客を提供できる会社。



人材

(株)トライフル
担当:久野華子
TEL:03-6912-2791
Email:inquiry@tryfull12.com

・**会社の特長（専門性や総合力など）**
外国語対応人材キャスティング / 語学研修プログラム運営 / 国際結婚プロデュース。30 カ国以上に対応。イベント・展示会を中心に、通訳、外国語対応コンパニオン、モデルなどの人材を世界中で手配できる、世界初の国際キャスティングエージェンシー「マルチリンガルキャスティング」を運営しています。国内主要都市と 38 カ国に対応。通訳、外国語

対応コンパニオン、外国人モデルなど語学に特化し 1 日 20,000 円から人材の手配をしています。

・**登録人数・主なイベント実績など**
登録者数約 1800 人。国内実績：東京オリンピック、ラグビーワールドカップ、東京モーターショー、東京ゲームショウ、官公庁イベント、テレビ番組取材同行通訳など。
海外実績：CES、モバイルワール

ドングレス、大手飲料メーカー・官公庁調査同行通訳、METALEX, Japan expo, Hiper Japan など

・**不況のなかどうやってイベント人材を確保したか**
ネットや SNS の活用をしました！

・**労働環境改善と人材の教育の新方式**
zoom を取り入れて研修をしたり、研修用のビデオをつくっています！

・**今後のイベント業界での在り方。求められる人物像と会社像**
個の時代とよく言われますが、イベント業界ってもともと独立志向の強い人が多いので、そういった人の能力を最大限に発揮してもらえような仕組みが大事だなと思います！あと、やはり横のつながりが大事だとコロナで実感しました！みんなで助けあっていきましょう！！



運営

(株)stand up A guy's
担当:竹倉寛敦
TEL:03-5809-2709
Email:kura@owry.biz

・**会社の特長（専門性や総合力など）**
制作、警備資格があり総合的なサポートができるところがポイント。

・**登録人数・主なイベント実績など**
ディレクター・AD を中心に自社育成をおこなっており少数精鋭ではありますが、企業周年イベントを中心にスポーツイベントの主催もおこなっております。

・**不況のなかどうやってイベント人材を確保したか**
社内業務を行なってもらい人材をキープすることに注力しました。

・**労働環境改善と人材の教育の新方式**
自社制作業務のフォローをお願いすることでイベントの深い知識を共有することができた育成をしました。

・**おすすめ協力会社や自社ソリューション**

弊社がイベントのコアなスタッフのみになるので、パートナーとしていつもパワープロジェクトさんにお世話になっており、同社のスタッフとは顔の見える関係もありフレキシブルな対応でいつも助かっているのです。オススメの協力会社です。

・**今後のイベント業界での在り方。求められる人物像と会社像**
自社のリソースを持ってモノだけではなくコトの提案、つなぎをすることでイベント自体の価値を向上させることが必要と思っており、自社主催イベントでのリソースを持ってクライアントに提案ができることが弊社として今後重要な要素です。

SUPER PENGUIN

SUPER PENGUIN (株)
担当:竹村尚久
TEL:03-6417-4497
Email:takemura@superpenguin.jp

企画・装飾

・**不況のなかどうやってイベント人材を確保したか**

当社はスタッフ数 7 名という小さな会社ですので、新規でスタッフを雇うというよりも、建築・インテリア系の学生アルバイトさんやデザイン系の経験のある主婦の方に様々な業務をお願いしています。また、当社では対処しきれない業務に関しては、外部のパートナーに協力していただいております。設営会社・グラフィックデザイナー・独立系ブースデザイナー等、専門性のある方々に出会えるよ

うに日々アンテナを張っています。

・**労働環境改善と人材の教育の新方式**
スタッフの教育としては、社内で定期的にセミナーを行っています。「全員講師方式」で、全員で成長していく、という形がよいのでは、と考えています。社内で流す BGM を担当する音楽担当や、常に社内におやつがあるようにするおやつ担当もいます。

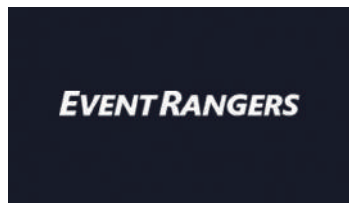
・**自社ソリューション**
大切にしていることは「前向きかど

うか」。どんな状況でもまず、クライアントである出展者の成功が最も大事な鍵だと考えていますので、関係者全員で、「どうやったら出展者が成功するか」を一緒に考えられる仲間を大切にしたい、と思います。

・**今後のイベント業界での在り方。求められる人物像と会社像**

だけで完結するのではなく、いかに周囲と協力し合って業務を進めていくか、という視点が大切だと思います。元請・下請け、という概念、「業者」

という概念ではなく、周囲全てがパートナーと捉え、共に「成功」を目指すチームとしての在り方です。この形が展示会業界でもますます求められるようになった、と感じています。そのような中で求められる人物像とは、社内だけの視点しかない人よりも、社外の人々と積極的な交流を持ち、どんな立場であっても、人とのつながりを大切にしようとする人、そのネットワークをうまく活かせる人なのではないかと考えています。



企画・運営

(株)イベント・レンジャーズ
担当:松宮洋昌
TEL:03-5444-8091
Email:matsumiya.hiromasa@event-rangers.jp

・**会社の特長（専門性や総合力など）**
官公庁、自治体主催のシンポジウムや事例共有、研修会等の運営と組織活性化イベント及び株主総会の制作運営が主業務。社内に配信スタジオも有しており、セミナー事前収録やオンデマンド配信などの対応も柔軟に行っている。

・**登録人数・主なイベント実績など**

内閣官房主催オンライン会議（国際会議含む）や地方向けのオンライン研修会、社員 4000 名の社員総会など。

・**不況のなかどうやってイベント人材を確保したか**
求人広告による採用、採用広告で仕事の業務内容が分かるような原稿にて対応。

・**労働環境改善と人材の教育の新方式**
働き方の多様化に対する指標づくり（途中）と教育育成計画及び制度の見直し

・**登録人数・主なイベント実績など**
内閣官房主催オンライン会議（国際会議含む）や地方向けのオンライン研修会、社員 4000 名の社員総会など。

・**おすすめ自社ソリューション**
会社対抗運動会、オーディション・コンテストフォーム エントリスタ

・**今後のイベント業界での在り方。求められる人物像と会社像**
イベントマネジメントのスキルはもとより、テーマに乗じた専門知識が求められ、必要と感じる。

ハイブリッドイベントは、リアルを拡張したAR演出で、特別なイマーシブ体験に！

SYMUNITY GROUP | SYMDIRECT | TAKEMURA THE KOBORI CENTER | TEP-S 株式会社 | ARK VENTURES | Tasc Service | SymX Inc. | PRESSTONE

symunity.co.jp

SUPER PENGUIN

外部パートナー、探しています。

スーパペンギンは共に業務を進めていただける外部のパートナー、そして共に展示会業界の未来を考える「仲間」を探しています。設営会社様・各種デザイナーの皆様をはじめ、展示会・イベントに関わる様々な立場の方々と横のつながりを築いていければと考えています。

<<< ご連絡は、FACEBOOK で当社代表竹村へ直接ご連絡ください。

FACEBOOK
TAKEMURA

www.superpenguin.jp

昭栄美術

継続的なマニュアルづくりと適材適所で、人材の力を蓄える

イベント開催状況がようやく回復してきた。そのなかでどのようにして優秀な人材を確保しつつサービス品質を保つのか。展示会やイベントを手がける昭栄美術の戦略をうかがった。

ジョブローテーションとキャリアプランを考える

例年の1割程度に業務量が減少した時期もあったほど、COVID19は昭栄美術の事業に大きな影響を与えた。「普段できないことをやるチャンス」と考えた第1製作部部長の天羽恵一さんは、10部門におよぶ同社の製作部門のスタッフのジョブローテーションを行った。新しい挑戦をして、前向きに仕事に取り組んでもらうのが狙いだった。全員ではなく、1つの分野のスキル向上を希望する場合にはその意思を尊重した。それぞれのキャリアプランを相談しながら進めたことが、モチベーション向上につながり、また新たな適性がみつかることもあり、適材適所な人材配置も進んだ。

ISO20121 取得と業務マニュアル更新

サービス品質を保ちつつ配置換えを行うのに、効果を発揮したのが業務マニュアルだっ

た。同社では2002年にISO9001を取得し、そのマニュアルも常に新しい業務の課題や解決策を継続的に更新しつづけ、品質マネジメントを行っていた。

木工製作から輸送まで各工程のマニュアルは、部門を超えて情報共有されており、1000ページ以上のボリュームになるという。会場の搬入口のアクセスやスペック、注意点など現場に必要な情報を掲載。写真や映像で作業工程を見せて、熟練技術が必要な経師貼りを、パートさんが行えるようになった。現場の声だけでなく、会社全体の目標から落とし込んだ業務内容も盛り込まれ、CO2排出削減目標達成のために、輸送面での改善も積極的に行っており、以前より継続的に取り組み、ISO20121も取得した。

デザイン・営業部署もマニュアル化

営業とデザイン部門のマニュアルも新たに作成した。クリエイティブ部・事業推進部部長の笹森伸明さんが“虎の巻”と呼ぶ営業マ

株式会社昭栄美術
クリエイティブ部
事業推進部 部長

笹森伸明さん



第1製作部 部長

天羽恵一さん



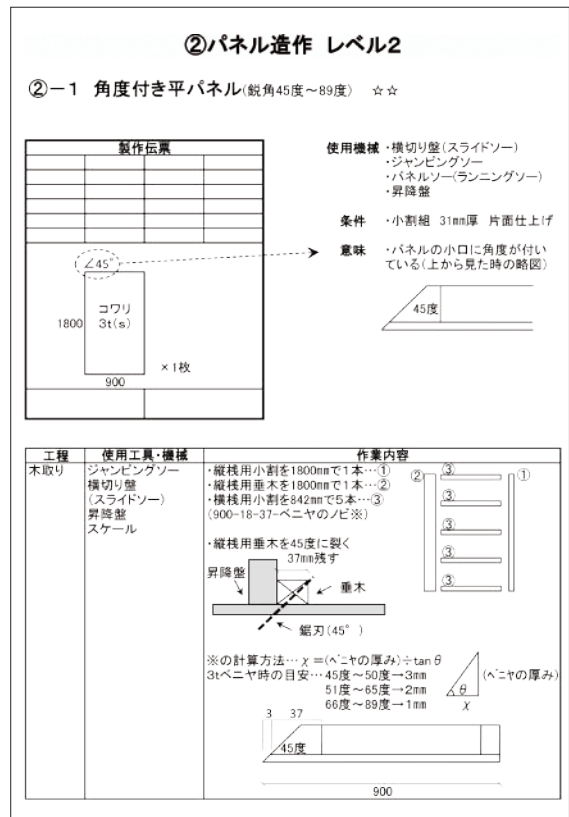
ニュアルには、「お客様にどれだけ喜んでいただけるか」といった昭栄美術のカルチャーから、企画書のフォーマットや提案のヒント、類似案件での実績など、こちらも詳細な内容で400ページほどのボリュームになっている。

イベント種別や業務内容ごとに全スタッフのスキルを一覧にした。案件ごとのチーム構成、誰に相談するのかが、一目でわかる。

マニュアルとシステムで働きやすい環境を

業務の見える化によってクリエイティブ部と事業推進部ではフレックス裁量労働制を実現。コロナ禍で多様化した働き方に対応できるようになった。

「まずは、自分たちの働く環境を整え、主体的に動き『お客様に選んでいただける組織』



詳細なマニュアルでジョブローテーションが可能に

を目指しています」(笹森さん)。

製作部門では、マニュアルを整備し人的リソースを効率運用することで、有給休暇の取得も推進。ほとんどの作業を工場内で行う施工のユニット化は、夜間勤務を減らし労働環境も改善。天羽さんは、「これまで積み上げたことと、コロナ禍で得た新しいものを融合する。イベントが戻ってきた時に、笑顔で仕事ができる環境を整えたい」と語った。

イベントの成果を 最大化する



取材 記事作成 写真撮影 動画撮影 ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは

株式会社 MICE 研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 5F

TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp

https://www.event-marketing.co.jp

展示会・イベントの 持続可能な未来を目指して



SHOEI
THINK YOUR VISION

株式会社昭栄美術

〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー25F TEL:03-5148-6651





海外の光の祭典に学ぶ ～インバウンドイベントの作り方～

視察ツアー座談会メンバー

石多未知行さん (一財)プロジェクションマッピング協会/ カラーズクリエーション株式会社 クリエイティブディレクター
篠原綾子さん (一財)プロジェクションマッピング協会/ カラーズクリエーション株式会社 アートディレクター/ デザイナー
繁竹雄志さん (一財)プロジェクションマッピング協会/ カラーズクリエーション株式会社 ビジュアルアーティスト / ビジュアルエンジニア
本間健太郎さん (一財)プロジェクションマッピング協会 ディレクター

聞き手：本紙編集部 樋口 陽子

世界最大級の光、音楽、発想の祭典「Vivid Sydney」が南半球の5月下旬から6月中旬にかけて行われた。街全体を活用したイベント規模感、製作チームの多様性、行政主導の明確なビジョンなど、(一財)プロジェクションマッピング協会のメンバーが体験した視察ツアーでの実感から得た、インバウンドイベントに必要なヒントとは。

規模も予算も桁外れ 街全体を使った光の祭典

石多 プロジェクションマッピング協会では、これまでも欧州を中心に光の祭典の視察と現地主催者とのネットワークを目的に、海外ツアーを実施してきました。

「Vivid Sydney」は光の祭典のなかでも特に東京に街のイメージが近く、都市型でどうスタイリッシュに展開し、光の文化をつくっているのかを体験をしたくて、今回選びました。

「Vivid Sydney」はオーストラリアへのインバウンド客誘致を目的に、

州が主催する国家プロジェクト。特徴としては規模も予算も大きさが桁違いです。欧州でも3日会期が多いなか、約3週間と長期に渡り、モチベーションや考え方も異なります。成り立ちやブランディングなど戦略的と感じながら、可能性を持ち帰ることができました。

篠原 以前参加したフランス・リヨンのツアーでの印象や日本と比べて、シドニーでは作品の色使いや配色が新鮮で、アートディレクターとしても

刺激を受けました。アボリジニーの文化が作品性にも反映されているのだと感じました。

また、グッズ展開も豊富で、光るステッキやカチューシャ、バンドなど、身に付けている参加者も歩く作品のように世界観をつくって、全体の雰囲気盛り上げていました。

繁竹 一つでも多くの作品に触れようと歩き回りました。なかでも Halo (写真E) は人種も年齢も言語も関係なく、そこにいる誰とでも光と音を通して即座にコミュニケーションが取れる作品で、とてもクリエイティブで好奇心や創造性を呼び起こす

A：オペラハウスに展開されたプロジェクションマッピング。空に向けた強力なムービングライトは150台以上にも及び一箇所でも制御している。対岸や船上からも楽しむことができる。

B：タイトル VIVID REFLECTIONS
アーティスト The Electric Canvas (オーストラリア)
セントラルパーク駅にあったカラフルな色のプロジェクションマッピング。モーションキャプチャの技術を使用し、人の動きをアニメーションアクションに変換して時計塔に映し出される体験型の作品。

C：湾を挟んでタロンガ動物園から見たVIVIDに輝くシドニーの街。

D：タイトル MACULA
アーティスト Julian Reinhold / Rico Reinhold (オーストラリア)
竹をらせん状に組み立てたオブジェに万華鏡のような色鮮やかな幾何学的パターンがプロジェクションされた作品。圧倒的な存在感で写真を撮る人を多く見かけた。

E：タイトル Halo
アーティスト illumaphonium: Gemma Davis / Michael Davis (United Kingdom)
LEDと音響を使ったインタラクティブなインスタレーション。円形のLEDはピアノの鍵盤のように音階が設定され、叩くと音になる仕組み。来場者は自由に叩いて音を奏で、それが即興のジャムセッションとなり空間を心地よい音楽が包み込む。

Vivid Sydney

Australia

毎年5月下旬から6月にかけて、シドニーの複数の会場で開催される世界最大級の光、音楽、発想の祭典。今年は5月27日～6月18日で開催。期間も23日間と長い。シドニー市内複数個所で、イルミネーション、インスタレーション、プロジェクトマッピングがアーティストによって施され、入場料などもかからずに自由に見学することができる。

渋谷発！FUNKでCUTEなアフリカンワールド

マイケル・ソイ展

Bunkamura 1F メインロビーフロア
東京都渋谷区道玄坂 2-24-1
2022年8月3日(水)～16日(火)
10:00～19:00 会期中無休・入場無料
【TEL】03-3477-9174



マイケル・ソイ

Michael Soi Exhibition
Bunkamura Wall Gallery
[後援] ケニア共和国大使館

2022.8.3 wed - 16 tue 2022



展覧会
情報



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

リアルとメタバース 空間ディスプレイの意味

次の8月31日号で特集します

私のいる空間と、いない空間♪



9月30日発行 エリア特集<大阪>/ IRとイベント
10月31日発行 映像特集・InterBEE/ 環境配慮とイベント
11月30日発行 企業カンファレンス/ 地域特集
12月28日発行 社内イベントとエンタメイベント
23年1月31日号 新年座談会・地域特集

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当：田中力)

**石多 未知行さん**

プロジェクションマッピングの専門団体の設立を始め国内外のクリエイターをネットワークキングするなど、その普及促進に寄与している。国際大会や企画展のプロデュース、舞台やライブの演出、そしてビジネスから地域創成セミナーやワークショップなどの人材育成まで幅広く展開している。

篠原 綾子さん

企業展示会やホテルラウンジをはじめ、プロジェクションマッピング演出に多数携わる。各イベントのキービジュアル / ポスター / フライヤーなどの制作も手掛ける。可愛く、親しみやすい作風を得意とし、固定観念に囚われない新しいビジュアル表現を模索し続けている。

繁竹 雄志さん

国内外の様々なプロジェクトに携わる。アーティストとの映像コラボレーションや CG 製作の他、近年では映像をデジタルトリガーとして捉え、LED やレーザー、照明制御を演出に取り入れ、ストーリー性のある「光」の表現を目指す。その他、機器の設置施工に関わるテクニカル部門も務め多岐にわたり活動中。

本間 健太郎さん

俳優として舞台、テレビ、CM、映画などに出演後、アミューズのパフォーマンスグループ A メンバーとして世界各国で公演。また外国人観光客向けのショーを作るのがきっかけで、インバウンドエンターテインメントやイベントの研究をはじめ、コロナ禍ではいくつかのオンラインイベントを主催。

素晴らしい体験参加型インスタレーションでした。

また、昼はテクニカルの立場で、気になっていた舞台裏を探索しました。例えば、プロジェクタを設置するタワーや柵のデザイン、空中に張られた電気配線の方法などです。機材を隠しながら景観を損ねないよう細かくデザインされていました。異物によって無意識にテンションが冷めてしまわぬよう、予算をかけて世界観をつくっていると感じました。

多様性あるチームが生む

石多 総合ディレクションを担当したギルさん初め、現場チームとも交流の機会を得られました。ギルさんも、全体照明のテクニカル統括のクリスティーナさんも、女性の多いチームでイベントは運営されています。

篠原 私の目標の一つは、現場のトップで活躍する女性率を上げることなんです。日本ではどこに行っても男性が多いように感じますが、舞台裏で頑張っている女性も少なくありません。「Vivid Sydney」の制作チームのクリスティーナさんは「週1回しかお休みがないの」と言いながらも、

本間 日本では1か所にプロジェクションマッピングを見に行くという感覚ですが、街の至る所で開催している規模感にまず驚きました。動物園内にも期間中は光るオブジェが複数あって、ナイトウォークのアトラクションとして新たなスポットにしているなど、街中を巻き込むアイデアのヒントにもなりました。複数ある作品を見切るためには長期滞在になりますし、インバウンドイベントとしての仕掛けを体感できました。

オーストラリアらしさ

目が輝いていて、楽しんで責任と誇りを持って仕事をしていると感じました。日本にも増やしたいですね。

繁竹 舞台裏の話では街の協力をとても強く感じました。発電機は離れた場所の民家裏に設置されていたり、発電機だけでは賄えない部分は、電柱やオフィス街、マンションからも電源をとっていたりと、街ぐるみでの協力体制を羨ましくも感じました。

本間 日本のイベントでは登壇者にも男性が多く、舞台裏もまだまだ女性率が低いと感じますが、制作のトップとして女性が活躍する「Vivid

Sydney」では、ジェンダーを含めた

インバウンドイベント 付加価値と文化育むには

篠原 「Vivid Sydney」では作品のそばに運営スタッフが日本ほど多くはありませんでした。それはゆったりと作品をみてもらうという意図があるのかとも思います。一方で、日本で作品ごとにスタッフを配置し案内をすることは、一つのおもてなしの文化表現にもなります。また、改めて日本の街の美しさへの気づきもありました。

この視察ツアーを通じて異文化に触れることで、自国文化の良さを引き出すよう、体験を変換することの大切さも感じることができました。
繁竹 想像以上に巨大なフェスだった「Vivid Sydney」は、日本では見られないからこそ、行く価値のあるものと感じました。参加者を気持ちよく高揚させてくれるつくり、リピート欲も掻き立てられましたし、現地文化のルーツを感じるイベントでもありました。置き換えて、日本ではどう価値をつくっていくのかのヒントになりました。

本間 世界の中には行きたい場所が

多様性も大きな特徴の一つでした。

多くあります。そのなかから、どうして日本を選んで、数ある都市のなかから滞在地を絞り、イベントにわざわざ行くのか。選択肢が多いなかでは、1%でも上のものを選べます。最終的には、この1%の積み重ねが大切だとするなら、各レベルでワクワクする期待感をつくっていかなくてはと思います。

今回、僕は「Vivid Sydney」だけでなく、メルボルン「RISING」、シンガポール「i Light Singapore」と3つの光の祭典を巡ってみて、その仕組みをつくらなければいけない、と改めて考え直しました。

石多 今回率直に感じたのは、シドニーの本気度でした。

「Vivid Sydney」は行政が主導し、公金が使われ大規模な予算で展開しています。もちろん、「Vivid Sydney」だって最初から規模も予算も大きいわけではありません。初回の2009年から徐々に規模を大きくしながら、協力者も増え、その過程で市民への理解も進んでいます。

また行政内の観光、交通、経済など5つのセクションが一緒にチームとなる座組みだからこそ、渋滞などで都市機能を停止させずにしなやかな実施ができていました。

それは目的が明確で、そのためのマイルストーンがきちんと設計されているから。スケール感はチームの連帯感からも感じました。

インバウンドイベントとして光の祭典はいま、コンセプトテーマを持って各都市がそれぞれの位置付けをしながら展開しています。

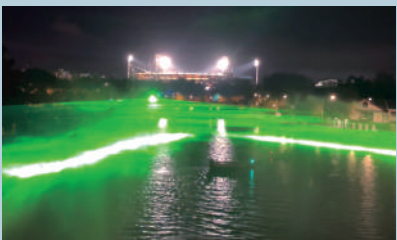
東京の光の祭典は未来型を目的に持ちながら、新しいアイデアを出す場所として人やモノが集まる場所にしたい。世界を追いかけるのではなく、日本が世界を引っ張っていく光の祭典へと、付加価値を突き詰めたんですね。



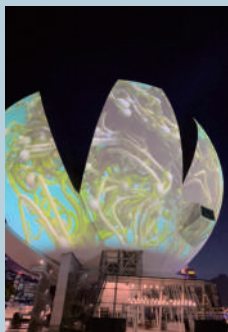
湾を囲む光とオペラハウスのプロジェクションマッピングを背景にメンバーで集合写真

RISING

オーストラリア第2の都市メルボルンで行われる光とアート、音楽、パフォーマンスのエンターテインメント「RISING」(6月1日～12日)。「生のゴスペルが響くアーティスティックなアイススケートイベントでは、光のオブジェ作品を頭上に、参加者が楽しんでいました(写



真左上)。「Vivid Sydney」よりも人を介したパフォーマンスが多く、「文化は人権」をテーマにした展開が印象深かったです」(本間さん) ヤン川の上を1kmに渡るレーザーショーも行われた(写真右上)。

i Light Singapore

シンガポールの光の祭典「i Light Singapore」(6月3日～26日)。2010年の開始以来、持続可能性の取組みを重視し開催。マリナベイ周辺の企業に呼びかけ、不要な照明をオフ、エアコン設定温度を上げるなどのエネルギー効率を促進している。



作品にも気候変動のデータをもとにしたプロジェクションマッピングの作品(写真左)や、廃ビニール袋を使い無駄なプラスチックの使いすぎと溶けていく氷山を表現した作品(写真右)など、エコをテーマにしたものも多い。

Z世代向け販促マーケティングをテーマに展開

—— 第66回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2022

株式会社ビジネスガイド社は10月5日から7日の3日間、販促・企業ギフト・マーケティングの国際的な専門見本市「第66回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2022」(PIショー)を、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館

ビル コンベンションセンターで開催する。

今回は「Z世代に向けた新たなマーケティング」をテーマに、90年代後半から2000年代前半に生まれた「デジタルネイティブ」世代のZ世代に向けた新たな手法を提案する。



販促・企業ギフトの展示会は10月5日から

BtoB 製品・サービス 動画活用を調査

—— UWAM

BtoB 営業・マーケティング支援事業を行う株式会社 UWAM は、「B2B 製品・サービス検討に関わる方の動画視聴状況調査」を実施(2022年6月22～24日)し、公開している。

検討者に「動画」は有効か」「With コロナ/リモートワークで視聴環境は」「見てもらえる“動画”」の3テーマに関する13の内容をレポート。

動画視聴したことがある人のうち66%が何かしらのアクションを取っ

たことがある(関係者共有・問い合わせなど)、といった回答が得られた。

結果レポートは、QRコードからダウンロードできる。



調査結果レポート

ケニアのファンクアートが渋谷に！

—— マイケル・ソイ展 2022

FUNK で CUTE な アフリカンワールドが再び東京・渋谷 Bunkamura Wall Gallery に帰ってくる。ケニアの現代アーティストのマイケル・ソイ。大人に人気！なのも興味深い。“面白いもの新しものが好きな大人へ”という展示会企画者の思いが伺える。今回は新作絵画とキャンパス生地にアクリル絵の具

で描かれた原画のソイバッグの他にキャラクター化した商品も販売される予定だ。8月3日から16日まで。入場は無料。



＜訂正とお詫び＞

前号(2022年6月30日発行, 84号)特集内4ページの合同会社 DMM.com 古波鮫さんへのインタビュー記事の冒頭導入部分に、誤表記がありました。

誤)「DNN オンライン展示会」
正)「DMM オンライン展示会」

関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。訂正し、お詫び申し上げます。



Pick up the Words!

「想像し創造する AI」でイーロン・マスクが代りに会議に

いま TV 等で話題の xpression camera は、利用者の顔の動きを分析し、AI で好きな画像や動画の顔の表情に置き換えるアプリ。有名人や動物などがあなたの代わりにオンライン会議に参加できる。開発した吉田さんは「開発の原点は、Zoom 疲れ」子どもの世話をしながらでも、自由な環境で参加できる。また感情表現をリアルに再現するのではなく、オンラインならではのコミュニケーション手法で解決する。将来的には映像制作も撮影なしで可能になるという。また、ユーザー側が新たな使い方を考えよう。人間をバーチャル化する expression camera がリアルとメタバースの在り方を変えるかもしれない。



月刊イベントマーケティングの公式 YouTube チャンネルでは、イベント関連のキーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミュートを解除!」を毎週金曜日の12時から30分間お届けしています。7月のゲストは、1日アスリート・マーケティング(株)甘利聡司さん(元闘鷹) 8日は Japan event week 展示会レポート、15日(株)TC フォーラム AP 新橋 猪狩晃比古さん、29日(株)フジヤ 入谷義彦さん。



吉田一星さん
(株)EmbodyMe

慶應大学卒業後、ヤフーに入社。コンピュータビジョン、機械学習などの研究開発に関わった後、株式会社 EmbodyMe を創業。世界に先駆けて GAN などの映像生成技術を研究開発し、Zoom など自分の外見を AI で置き換える xpression camera などのサービスを立ち上げている。

イベントレポート

262 社・365 小間過去最大規模で展開「課題解決 EXPO2022」



工場服姿の来場者が多いのも「課題解決 EXPO」の特徴のひとつ

「課題解決 EXPO2022」が7月6日から8日の3日間、西日本総合展示場新館(福岡・北九州市)で開催された。

地域産業と企業の事業課題を持つ来場者が、各種ソリューションを提案する出展者とマッチングする総合的な課題解決フェアとして、環境や DX、製造などの地場産業をテーマに8つの展示会が同時開催したもの。262社・365小間と過去最大規模で、新館1FのABC全区画8000㎡全体を使用して展開し、3日間合計で、13,749人が来場した。

例えば、Sansan 株式会社ではブースをサービスごとに分け、2ブースを展開。そのうち、中小企業をターゲットにしているチーム向けのサービス「eight team」は東京以外で行われる地方展示会で地元企業来場者との出会いに期待し初トライしていた。

また、今回、「中小企業テクノフェア in 九州」内では、東京都・東京商工会議所ブースが20社を集め、大きく展開するなど、地元企業との直接の商談機会の場として活用していた。

8 展同時開催で多分野との出会い創出

主催する(公財)北九州観光コンベンション協会では、8展同時に開催することで、多分野との出会い創出の相乗効果を実現している。

* *

なお、本紙では会場のようすをライブ配信でレポート。下記 QR コードよりアーカイブ視聴できる。



地元大手の安川電機も出展



8つの構成展

- ・西日本製造技術イノベーション
- ・ロボット産業マッチングフェア北九州
- ・商談会「製造技術マッチングフェア」
- ・西日本 DX 推進フェア<初開催>
- ・中小企業テクノフェア in 九州
- ・ふくおか産業技術振興展
- ・エコテクノ-地球環境ソリューション展
- ・エネルギー先端技術展
- ・ベンチャー・メッセ

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせ販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

IT 企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、メーカー・イベントの皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。



インタビュー

幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to faceを科学するレポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp

